

ふじえだ ^{イクジィ}育G 応援プロジェクト その13

地域で広げよう! 孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

今と昔の子育ての違いを知る 1. デジタル文化

学校で授業といえば、黒板に先生が板書をして、生徒がノートをとる、というのが主流でしたが、2018年、文科省が「学校におけるICT環境の整備」を掲げ、2020年度からは小学校でのプログラミング教育が必修化されるなど、黒電話から携帯、スマホへと変わったように、学校教育の環境・内容も大きく変化しています。

報道などを見ると、コロナで急にICT化になったように見えますが、実はその前から始まっていました。生まれた

ときからスマホがあって、パパママは「アレクサ、音楽をかけて!」と機械に話し掛け、育児記録も紙でなく、スマホに入れたアプリで管理。いろいろなものが機械の中に入ってしまった。どっちがいいのかはわかりませんが、わからないことは娘息子に聞くよりも、孫に聞いた方が、わかりやすく、やさしく教えてくれますよ。



イラスト:Hina

アドバイザー

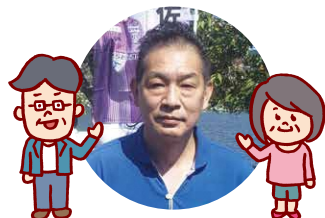
ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

夢は二人の結婚式に出席すること



今月の育G

是永 哲也さん (54歳)

職業: 会社員

住所: 市内南駿河台

孫 : 女の子 (5歳、2歳)

初めて孫を抱っこしたときは、とても不思議な気持ちだった。まるでお人形さんを抱いているようで、「大切な宝物だ」と感じた。孫が歩けるようになってからは、残業もそこそこに帰宅するのがとても楽しみになった。一緒に買い物に行き、お菓子をたくさん買ってあげるのにはママには内緒だ。嫌われたくないので絶対に怒ったりはしない。悪い事をしたときだけ優しく優しく注意する。パパママのサポート役に徹して、困ったときだけ応援するくらいが丁度いい。二人の結婚式に出席することが目下の夢だ。そのためにも、健康で長生きしなければとウォーキングを始めた。

～ 自慢の孫フォト ～



きさきちゃん、のんちゃん

藤枝市からの子育て情報



子ども・子育て支援サイト&スマートフォンアプリ
「ママフレ藤枝」をご利用ください

「ママフレ藤枝」では、子育て関連の行政サービスや施設情報等の閲覧ができます。アプリでは電子母子健康手帳や予防接種記録、プッシュ通知機能のほか、地図上で教育・保育施設や「あかちゃん駅」を検索できる施設マップなど便利な機能が満載です。ぜひ、ご利用ください。

ママフレ藤枝
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
アクセスしご覧いただいた
感想をお寄せください♪